

( 陳受23第27号 )

国に対し、原発廃止を求める意見書提出に関する陳情

受理年月日

平成23年 9 月26日

陳 情 者

安藤 頌子

陳 情 の 要 旨

3.11の地震・津波をきっかけに、原発がこれほどの災厄を、広範囲に、長期間もたらずのものであることを目の当たりにして、原発はとめるしかないものであると確信しました。世代を超えた未来にわたって、人や自然に悪影響を及ぼすものであること、生成されるプルトニウムや、放射能によって汚染された廃棄物の処理や、捨て場もままならないことによっても、やめなければならないものです。

原発は、人為的な産物であるので、自然災害と異なり、人間社会がやめると決めればやめることができます。それがどんなに大変でも、ここに希望を持ち、武蔵野市から「地震の多い、狭い日本で原発は止めよう」の声を市や市議会（もちろん市民も）が率先してあげることがを希望しています。

これから生まれるたくさんの命を含む未来を、危険にさらすことは、それがどんなに利便や目先の利益を生むものであっても避けねばならぬと思います。

よって、下記の事項について、陳情いたします。

記

- 1 武蔵野市議会は「日本が、国として原子力発電を廃止することを決める」よう国に意見書を提出してください。